

令和7年 飯塚市10大ニュース

名 称	概 要
まちの飛躍の引き金に ～「八木山バイパス」篠栗IC～筑穂IC間が4車線開通～	国道201号八木山バイパスは、3月30日、篠栗IC～筑穂IC間5.7kmが4車線で開通、再有料化となりました。前日には国土交通省・NEXCO西日本・飯塚市・篠栗町の主催による開通式が、来賓・関係者約130名列席のもと盛大に開催されました。開通後は所要時間の短縮により定時性が確保され、安全性も向上、福岡都市圏との快適な往来が図られました。残る筑穂IC～穂波東IC間7.6kmの工事も順調に進捗しており、全線13.3kmの4車線化(令和11年度完成予定)が待ち望まれています。
進む市内の企業誘致 ～新たな産業拠点創出で地元経済を加速～	栗尾工業団地(鯰田)では株岡崎製作所福岡工場の起工(4月)、一番食品(株)の新工場建設(10月)、同鯰田地区には株山口重工業(株)の進出(10月)と次々に地域経済活性化に向けた取組が発表されました。また飯塚工業団地(平恒)では「株さかえ屋」アイス工場が稼働開始(7月)され、これらにより、新規雇用の創出に伴う定住促進に加え、今後の飯塚市の経済に多大な好影響を与えるものと期待されています。
友好の絆、更に深まる ～武井市長が姉妹都市サニーベール市へ渡航～	武井市長が6月6日から11日まで姉妹都市である「サニーベール市」を飯塚市長として初訪問、同市ではシリコンバレー最大のイベントである「アート＆ワインフェスティバル」の50周年記念の節目に姉妹都市交流及び市内の特産品等の宣伝をしました。また、「日米草の根交流サミットクロージング式典」にも参加し、日本各地からサミットに参加された方向けに本市の魅力を発信しました。
2大イベント「飯塚山笠」「飯塚花火大会」が時期を変更しての開催で大盛況！	7月15日に行われていた、5つの流れがタイムを競うフィナーレの追い山。今年は「市民祭飯塚山笠」として7月20日に変更実施。菰田流が3連覇を達成しました。続けて、「第101回飯塚花火大会」が開催時期を例年の8月から9月25日に変更して実施されました。日程変更を行った今年の飯塚の2つの大イベントはこれまで同様に多くの観客に楽しまれました。
55年間親しまれた駅舎から新たな駅舎へ ～続くJR飯塚駅周辺整備事業～	昨年度から工事が始まった「飯塚駅周辺整備事業」。炭都としての栄華を感じることができた駅舎は55年の歴史に幕を閉じ、親しまれ続けた風景の終わりに多くの慕情のコメントをいただき、多くの方に愛されていましたことを実感しました。その後、東口新駅舎と西口仮駅舎での供用が始まり、駅東側からのアクセスが各段に向上了。令和8年度中に生まれ変わるJR飯塚駅、周囲では住宅地造成・集合住宅建設が行われる中、現在も工事が進行しています。
若きアスリートたちが今年も大活躍！	「第55回全国中学校剣道大会」(8月)で飯塚日新館中学校女子剣道部が準優勝を果たし、パラジュニアアスリートの分野では車いすテニスの矢野蒼大選手が「かんぽジュニアオープン」(7月)と「ユニクロ全日本ジュニアテニス選手権2025」(9月)で優勝しました。飯塚高校はサッカー部がインターハイ出場(8月)を果たすと、駅伝部が「筑豊初」となる全国大会に出場し、「飯塚」の名を全国に広めました。そして、飯塚市出身の藤川敦也選手(延岡学園高)がプロ野球「オリックスバファローズ」への入団を決定し、昨年の日本ハムファイターズ柴田獅子選手に続き、飯塚市から2年連続でドラフト1位指名によるプロ野球選手が誕生しました。
DX人材の育成に向けて ～飯塚市と大学での協定を締結～	10月3日、九州工業大学が100%出資する「株式会社Kyutech ARISE」と、DX分野に対応できる人材の育成・確保を目的とする「人材育成・人材確保に関する連携協定」を締結し協定書が交わされました。この協定により、地域における人材不足の解消、行政力・技術力の向上を目指し、飯塚市職員への研修支援、市内企業や誘致企業への講師派遣などを通じ、連携事業を積極的に展開、地域人材力の底上げが期待されます。
「教育のまち」を発信 ～飯塚市で九州都市教育長会議、新しい学びプロジェクト研究会【全国大会】を開催～	10月16日、17日、「第37回九州都市教育長協議会定期総会」が飯塚市で初開催され、九州各地から約100名の教育長が参加、教育行財政や学校教育に関する発表が行われました。さらに11月14、15日には「新しい学びプロジェクト研究会【全国大会】」が行われ、知識構成型ジグソーフ法を用いた公開授業や教科別研究会を実施。これらの大規模会合の開催を通じて、「飯塚市は“教育のまち”としての存在感を全国に示す機会となりました。
クライミング国際大会「IFSCクライミンググランドファイナルズ福岡2025」を飯塚市で開催	スポーツクライミングとパラクライミングの同時開催を国内で初めて実現した世界大会、「IFSCクライミンググランドファイナルズ福岡2025」が10月23日～26日に「いいづかスポーツ・リゾート ザ・リトリート」で開催。世界ランキング上位の選手たちが集結、ロサンゼルス2028パラリンピックで初めて採用されるパラクライミング競技も披露されました。本市での開催は、毎春行われる「飯塚国際車いすテニス大会」と共に、スポーツの拠点化、観光振興に大きく寄与しただけでなく、障がい者スポーツの振興、共生社会実現に邁進する飯塚市を発信することができました。
社会増が続く飯塚市 ～4年連続人口転入超過～	飯塚市は令和4年から3年連続で人口の社会増減数が増加となり、令和7年も社会増を達成する見込みです。また、増加数も右肩上がりとなっており、県内の社会増減数自治体ランキングでも3年連続で順位が、16位→10位→9位と上昇しています。これからも、教育環境、子育て環境をさらに高め、市民の皆様はもとより、他自治体の住民の方からも「住むにいいまち・選ばれ続けるまち」に努めていきます。